

学生入門コンテンツ

～日本の高等教育の底上げプロジェクト～

第2分科会

「教職協働で進める教育支援のマネジメント」

このグループディスカッションの目標

- ★ 討議の導入となった、**キーワードの定義づけ**が何れも**理解・同意できる**ものであること。
- ★ 構想したマネジメントモデルが具体的に**イメージできる**ものであり、且つ、その**目標設定・評価方法**が**理解**できるものであること。
- ★ 自大学において教育支援のマネジメントを展開する際、このマネジメントモデルでいうとどの部分が**課題**となるかが**わかる**こと。

サクセス・キーワード

- **リーダーシップ**
- **マネジメント**
- **目標設定と評価 (PDCAサイクル)**
- **教職協働**
- **教育支援**



リーダーシップ

- ・ 正しい方向を指し示すこと。
- ・ 人間関係という土台を築き上げた上で成り立つもの。

※相手の話を十二分に聞けてこそ、自分の話を聞いてもらえる。
※正しい道を指し示すことができても相手に理解してもらえなければ難しい。
※リーダーシップとは一人ひとりが（意識して）持つ（ことができるよう努力する）もの。

マネジメント

- ・ 時間、役割分担、配分を計画すること
- ・ 上手く物事が進むように調整すること
- ・ 目標を達成させること

目標設定と評価

事前の目標設定が明確であることが重要であり、かつ目標の達成度が具体的に検証できるかどうかことが重要であること。

※目標設定し、評価する際には、**協力を促し**競争を煽るものではないようにしていくべきである。

教職協働

教員と職員が**信頼関係**を築き上げることから始まるもの。

※対教員だけではなく、対職員との信頼関係や情報の周知も大切。

教育支援

- ・ 学生の**将来の**ためになること
- ・ 学生に気づきを与えること

× 学生の動機付けになることが大切で至れり尽くせりにすることではない。

× 基づくデータも無く、感覚で決め付けてしまわないことが大切。

例えば：シラバスの冊子は不要！誰も見ていない！だからICT化して紙ベース資料は廃止！⇒冊子が必要という声が多数あり、復活！

- 学生の底力を信じる。
- 自分自身の力でできるようにしていく。
- 道標を示して学生を支援することに注視していく。

では、具体的なマネジメントモデルとは？

日本の高等教育の底上げに繋がる
プロジェクトマネジメントモデルを構想

学生入門コンテンツ

学生入門コンテンツ

日本の高等教育の底上げプロジェクトのマネジメントモデル

企業・自治体
など社会



プロジェクト具体例：e-learning教材の共有

- ・ ノートテイクの方法
- ・ 大学での学びのスタート補助（履修の心得など）
- ・ マナー

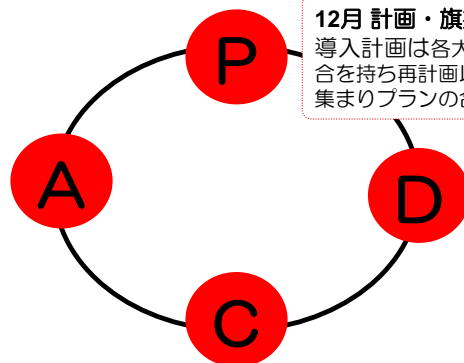
※ 各大学で無償利用ができる。

大学



学生入門コンテンツ

日本の高等教育の底上げプロジェクトのマネジメントモデル



12月 計画・旗振り：

導入計画は各大学トップが会
合を持ち再計画以降は担当が
集まりプランの合意を得る。

学生入門コンテンツ

日本の高等教育の底上げプロジェクトのマネジメントモデル

各大学では：

教職協働で高等教育の底上げに必要なことを計画およびコンテンツ
としてまとめる。

企画案作成
事務職主導・教職協働

教学系委員会

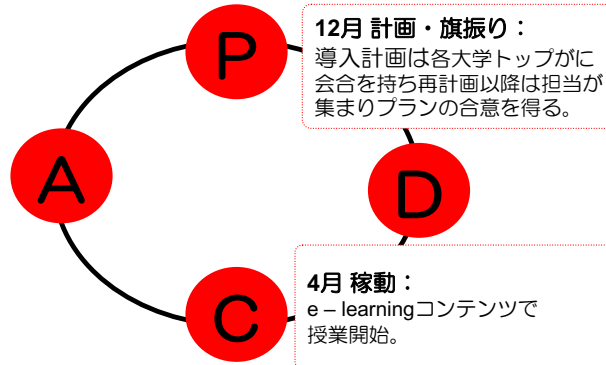
学部長会議
トップ会議

大学間協議

旗振りは学長レベルの合意を得る

学生入門コンテンツ

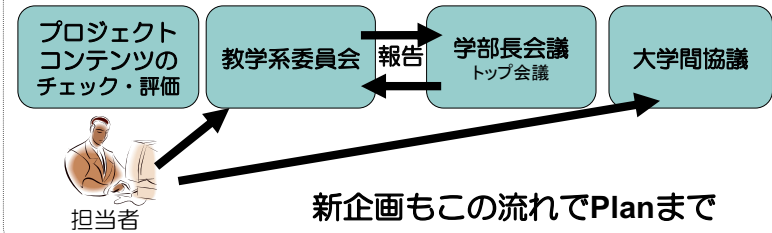
日本の高等教育の底上げプロジェクトのマネジメントモデル



学生入門コンテンツ

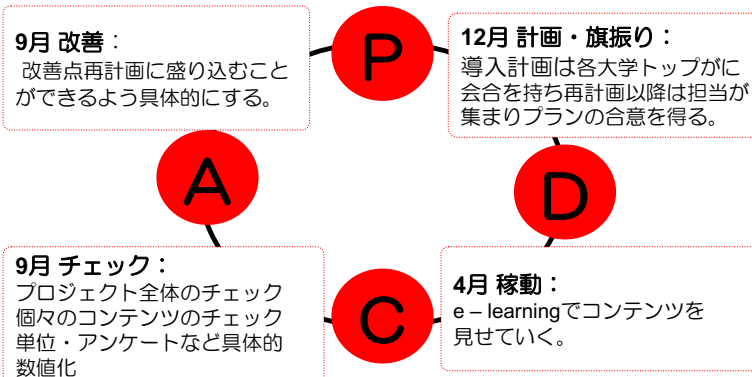
日本の高等教育の底上げプロジェクトのマネジメントモデル

各大学で担当者がプロジェクトおよびコンテンツを
チェックし改善点をまとめ、再計画案をまとめる。



学生入門コンテンツ

日本の高等教育の底上げプロジェクトのマネジメントモデル



以上です！！

ありがとうございました！

いやいやいや、ちょっとまってよ・・・

具体的な到達目標や検証可能な評価体制は？

そもそも、高等教育の底上げとは、
何を持って目標達成と言えるのだろうか？

う～ん・・・・・・・・困った・・・・・・・・
・・・・・・・・！！

新たな学問を創作してみたらどうか？

日本学

ん・・・・・・・・・・・・・・・・

？

ん・・・・・・・・・・・・・・・・

何

...

日本学

日本学の解説

日本学とは、国語力や日本の文化・歴史・道徳など日本の高等教育機関で学ぶにあたり備えておくべき知識・能力である。

学生入門コンテンツ科目

「日本学」完了型e-learning

日本の高等教育の底上げプロジェクトのマネジメントモデル

具体的な到達目標：

「日本学」統一テストを実施し、
合格率8割以上を目標とする。

学生入門コンテンツ科目

「日本学」完了型e-learning

日本の高等教育の底上げプロジェクトのマネジメントモデル

評価方法：

「日本学」統一テスト合格率8割に到達したか否か。

- 教員
- 職員 の大項目でチェックする。
- 学生

※ 授業内容・教授法・出題方法（内容）・マネジメント・システム・学力レベルなど、それぞれの大項目の中で細分化した評価項目を定める。教職協働で目標が達成できるよう改善していき個々のレベルアップを図ることで高等教育機関の底上げにつなげる。

「日本学」完了型e-learning

日本の高等教育の底上げプロジェクトのマネジメントモデル

改善：
教職協働で改善に取り組み
再計画に改善点を盛り込む。

P

・目標設定を明確にする。
・科目内容・担当者・試験
内容・システム構築スケ
ジュールなどまとめる
・事務職員がリーダーシップ
を取り教職協働&大学連携
の体制を整えマネジメント
していく

A

目標達成度チェック：
教員・職員・学生の大項目に分
け、さらにその大項目の中で細
分化した評価項目を確認する。

C

稼働：
完了型e-learningで前期15コマ
行い、学期末全国統一「日本学」
テストを実施する。

D

戦略的大学連携GP

採択

か!?

このグループディスカッションの目標

- ★ 討議の導入となった、**キーワードの定義づけ**が何れも**理解・同意できる**ものであること。
- ★ 構想したマネジメントモデルが具体的に**イメージできる**ものであり、且つ、その**目標設定・評価方法**が**理解**できるものであること。
- ★ 自大学において教育支援のマネジメントを展開する際、このマネジメントモデルでいうとどの部分が**課題**となるかが**わかる**こと。

学生入門コンテンツ

～日本の高等教育の底上げプロジェクト～

つづく